

有間ダム

～入間川の支川有間川にあるダム～

荒川上流部改修から
100年
1918-2018

入間川総合開発事業の一環として建設された埼玉県営第1号の多目的ダムです。



有間ダム



有間ダム



有間ダム

有間ダム

有間ダムは、秩父山塊から源流する1級河川入間川の支川、有間川（合流点上流730m、飯能市下名栗）に建設された中央土質遮水壁型ロックフィルダムです。有間ダムの事業目的は以下の3つです。

洪水調節	洪水期間（7月1日～9月30日）に、ダム地点での計画洪水量360立方メートル/sのうち320立方メートル/sを調節し、下流流域を洪水から守っています。
流水の正常な機能の維持	飯能市小瀬戸地点より下流701haの耕地に対する灌漑用水、既得上水等の供給、さらに河川が本来持っている機能（動植物の保護、流水の清潔の保持、地下水の維持等）を正常に維持するために、渇水時においてもダムから流水の補給を行っています。
都市用水の確保	沿岸下流の飯能市上水道に34,560立方メートル/日（0.4立方メートル/s）、県営広域第一水道に25,920立方メートル/日（0.3立方メートル/s）の水を供給しています。

▶ 有間ダムとは

入間川下流流域は、都市化により、人家が密集し、出水のたびに災害に見舞われ、根本的対策が必要とされていました。また、流域の飯能市、県営広域第一水道供給区域は、首都圏近郊に位置するため、人口の増加が著しく、深刻な都市用水の不足をきたしています。

有間ダムは、これらの問題に対処するため、入間川総合開発事業の一環として建設された県営第1号の多目的ダムで、1986（昭和61）年3月に完成しました。

所在地: 飯能市	堤高: 83.5m
ダム形式: 中央土質遮水壁型ロックフィルダム	堤頂長: 260.0m
完成: 昭和61年	堤体積: 169万m ³
総貯水容量: 760万m ³	事業者: 埼玉県

ダム諸元

▶ 名栗湖

名栗湖は、埼玉県飯能市の西部、下名栗にある有間川をせき止めて作られた有間ダムの周囲に出来た貯水湖です。湖の周囲には、約4.5kmの周遊道路が整備され、ぐるっと豊かな自然を満喫することが出来ます。また、湖ではワカサギ解禁（11/1～3/31）に合わせてワカサギ釣りをすることが出来ます。予約制のレンタルボート釣りや岸釣りなどレベルに合わせて楽しめます。

その他に、名栗カヌー工房でカヌー体験やレンタルで湖からの自然観賞を楽しむことも出来ます。

周辺にも観光スポットが点在し、湖から有間川上流にある有間渓谷では川魚を釣れる釣り場も整備されています。



名栗湖

コラム 名栗ほたる鑑賞の集い

水のきれいな名栗の里では6月下旬から7月中旬まで、各地で蛍が飛び交います。涼やかな清流に蛍が乱舞する様子はとても幻想的です。例年7月の第一土曜日に開催される「名栗ほたる鑑賞の集い」では、地元商店により飲食店の販売もあります。



アクセス

交通: 西武池袋線「飯能駅」下車
国際興業バス「さわらびの湯」
下車、徒歩約20分

住所: 埼玉県飯能市下名栗
1830-1

